

令和5年度3学期学校評価の結果及び改善策

職員アンケートから

全ての項目で3ポイント以上であり、2学期までの反省を生かした改善が見られる。特に、食に関する指導、郷土教育の推進は、取組が充実していたことがうかがえる。

年間を通して平均すると、道徳教育の充実、地域学校協働活動の推進、業務改善の推進が他項目より低い結果となっている。課題点を全員が意識し、改善に向けて取り組んでいきたい。

○ 道徳教育の充実

- ・ 少人数の学習を考慮した「考え・議論する道徳」の授業構成の工夫
(発問の工夫, 役割演技, ICTの活用, 他校とのオンライン授業, ゲストティーチャーの活用 等)

○ 地域学校協働活動の推進

- ・ 人材リストの整理, 引継ぎ
- ・ 関係機関との連携

○ 業務改善の推進

- ・ 具体的な業務の見直しと実践
(過年度データの整理, 反省を生かした教育課程の見直し, ICT活用 等)

子供アンケートから

全体的に楽しく充実した学校生活を送れているようである。「言葉づかい」が1・2学期より評価が低くなっている。「忘れ物」と「メディア(テレビ・ゲーム)」の項目について低い評価をしている児童の数が多し。保護者の評価でも低い評価となっている。

○ 言葉づかい

- ・ 相手を敬う呼び方の継承(呼び捨てをしない, 「～さん」をつけて呼ぶ)
- ・ 人権教育の充実
- ・ 大人の手本となる言葉づかい(保護者との連携)

保護者アンケートから

学校評価においては、全て3ポイント以上であるが、「12 適切な指導」が他の項目より低い評価となっている。一人一人の児童に目を向け、児童の特性に合わせた全体指導と個別指導を適宜行っていく必要がある。

子供評価においては、これまで同様、家庭学習の時間、メディアの時間、忘れ物の評価が低くなっている。子供自身の評価より保護者の評価の方が低い結果である。各家庭でのルールを再確認させる必要がある。

自己評価においては、「一家庭一運動」，「親子読書」の項目が低くなっている。3学期の家庭教育学級の時間を利用して保護者同士で、「一家庭一家訓」，「一家庭一運動」，「親子読書」の取り組み方について情報交換をし，保護者自身が改善策を話し合うことができた。

○ 学習道具の準備・忘れ物

- ・ 準備が苦手な児童への個別指導と家庭との連携
- ・ 週報を活用した事前連絡
- ・ 帰りの会等におけるメモをとる習慣付け
- ・ 学校での整理整頓の指導及び家庭での取組の推進
- ・ 前日準備の推進及び保護者による確認依頼

○ 家庭学習

- ・ 家庭教育週間の実施及び家庭への協力要請
- ・ 保護者への「家庭学習の手引き」の周知及び家庭学習の見届けの協力依頼
- ・ 児童の実態（学習場所・時間，睡眠時間，習い事等）を把握した家庭学習のあり方の個別指導（家庭教育週間カードの活用）

○ メディアの時間

- ・ メディア活用によるメリットとデメリットの児童への指導（朝の会・帰りの会・学級活動 等）
- ・ 家庭のルールの見直し
- ・ 親子で活用できる参考資料等による啓発

○ 「一家庭一家訓」，「一家庭一運動」，「親子読書」

- ・ 学級PTA等を活用して「一家訓」と「一運動」を確認する時間をもつ
- ・ 少年団等と関連付けて，子供が取り組みやすい運動を継続できるようにする
- ・ 親子読書は，学年や家庭によって取り組み方が多種多様であることを理解して取り組む

令和5年度 学校職員アンケート 結果

4 : そう思う 3 : どちらかというと思う 2 : どちらかというと思わない 1 : そう思わない

領域		評価の観点	1学期	2学期	3学期	年間平均
確かな学力の定着	1	「分かる授業・できる授業(一単位時間の授業の充実)」の実践がなされた。(こだわりの視点, 主体的学習, 学習のしつけ等)	3.1	3.4	3.6	3.3
	2	I C T機器の効果的活用(タブレット, デジタル教科書等)がなされた。	3.3	3.8	3.6	3.6
	3	当該学年の基礎・基本の確実な定着(演習問題の活用, 単元テスト85%以上, 諸学力検査全員全教科県平均以上)がなされた。	3.2	3.4	3.9	3.5
	4	家庭学習の内容の工夫と充実(授業と家庭学習の連動, 家庭での学習量の確保)がなされた。	3.1	3.1	3.3	3.2
思いやりの心の育成	5	全教育活動で人権の視点に立った指導(居場所づくり・絆づくり, 自己肯定感の向上)がなされた。	3.1	3.2	3.4	3.2
	6	道徳教育の充実(「考え・議論する道徳」の実践)がなされた。	2.9	3.4	3.1	3.1
	7	望ましい読書週間の形成(朝読書の充実, 読書旬間の活用, 読書の質・量の向上)がなされた。	3.2	3.7	3.4	3.4
	8	ボランティア教育の推進(ボランティアカードの活用・青少年赤十字(J R C)活動の推進 等)がなされた。	3.1	3.0	3.6	3.2
体力向上と健康・安全教育の充実	9	主体的な体力づくりの取組(「一校一運動」, 「チャレンジかごしま」)がなされた。	3.2	3.7	3.7	3.5
	10	自分の命は自分で守れる子供の育成(実効性のある避難訓練, 危険予測・危険回避能力 等)がなされた。	3.2	3.4	3.9	3.5
	11	望ましい健康習慣の確立(早寝・早起き・朝ご飯, う歯治療率100%への取組)がなされた。	3.1	3.0	3.5	3.2
	12	食に関する指導の充実(栄養教諭との連携, 給食指導の充実 等)がなされた。	3.0	3.6	4.0	3.5
特色ある教育の推進	13	「なりたい自分になる」キャリア教育の推進(キャリアパスポート活用等)がなされた。	3.1	3.5	3.7	3.4
	14	郷土教育の推進(「かごしま景観学習」の取組, 郷土教育素材を生かした取組 等)がなされた。	3.1	3.6	4.0	3.6
	15	外国語・外国語活動の推進(朝の活動・「英語俳句」の取組, 英検ESGの取組 等)がなされた。	3.4	3.5	3.6	3.5
	16	人材リストの整備と地域学校協働活動の推進(伝統芸能の継承・自然環境を生かした体験活動 等)がなされた。	2.7	3.1	3.3	3.0
	17	新聞投稿・作文・絵画等コンクールへの積極的な応募がなされた。	3.3	3.9	3.7	3.6
職員の資質向上	18	服務規律の厳正確保(個人の意識向上・不祥事防止強調月間・個別服務指導強化期間等)がなされた。	3.5	3.7	3.9	3.7
	19	業務改善の推進(業務内容の簡素化・効率化・協力体制の構築 等)がなされた。	3.2	3.0	3.2	3.1
	20	校内研究の組織的推進(キャリア教育, 一人一回以上の授業提供 等)がなされた。	3.3	3.3	3.4	3.3
	21	校外研修や研究公開等への積極的参加と報告による学校への還元がなされた。	3.2	3.3	3.6	3.4
	22	個人研究テーマの設定・実践がなされた。	2.9	3.0	3.7	3.2

令和5年度 子供アンケート結果

4: そう思う 3: どちらかというと思う 2: どちらかというと思わない 1: そう思わない

項 目		1学期	2学期	3学期
学校	1 学校へ行くのは楽しみである。	3.9	3.7	3.7
	2 学校のみみんなはやさしくしてくれる。	3.6	3.8	3.7
	3 学校での学習は楽しくて分かりやすい。	3.9	3.6	3.7
	4 休み時間は楽しい。	3.9	3.9	3.9
	5 掃除時間は一生懸命できた。	3.6	3.7	3.5
	6 進んで朝の運動や美化活動に参加している。	3.4	3.4	3.4
先生	7 先生は、勉強をいっしょうけんめい教えてくれる。	3.9	3.8	3.8
	8 先生は、よくほめてくれる。	3.7	3.6	3.8
	9 先生は、まちがったことや悪いことをしたときは、きびしく教えてくれる。	3.7	3.7	3.8
	10 先生は、よく話を聞いてくれる。	3.7	3.6	3.7
自分	11 元気よくあいさつや返事ができた。	3.7	3.6	3.7
	12 使ったものは、きちんと後しまつすることができた。	3.6	3.5	3.6
	13 はやめの集合で静かに整列することができた。	3.2	3.3	3.2
	14 言葉づかいに気がつけた。(ちくちく言葉でなくふわふわ言葉が使えた。)	3.3	3.3	3.1
	15 授業中、先生や友だちの話を聞く時は、話す人の方を向いて聞くことができた。	3.4	3.6	3.6
	16 発表する時は、静かに立ち、聞いている人の方を向いて、みんなに聞こえる声で話すことができた。	3.4	3.3	3.4
	17 授業のチャイムが鳴るまでに、学習道具の準備をしておくことができた。	3.2	3.3	3.2
	18 座る姿勢・書く姿勢に気をつけることができた。	3.1	3.2	3.2
	19 正しくえんぴつを持ち、反対側の手はノートを押さえることができた。	3.5	3.4	3.5
	20 学校で使うものをきちんと準備し、忘れものが少なかった。	3.1	3.1	3.1
	21 図書室の本をたくさん借りて、進んで読書に取り組むことができた。	3.4	3.4	3.4
	22 くつをそろえ、いすを入れることができた。	3.6	3.6	3.7
	23 掃除時間は作業に集中し、心のこもった掃除ができた。	3.5	3.5	3.5
	24 委員会や係、当番など自分の仕事をいっしょうけんめいした。	3.7	3.6	3.6
25 廊下や階段は安全に歩くことができた。	3.5	3.4	3.4	
26 元気よく運動したり遊んだりして、体をいっぱい動かした。	3.7	3.8	3.6	
27 好き嫌いを少しでも減らそうとし、食事のマナーに気をつけながら食べた。	3.5	3.5	3.7	
28 手洗い・うがいや、つめ切り・耳そうじをし、ハンカチやちり紙をいつも持つように気をつけた。	3.4	3.4	3.3	
29 宿題や家での学習はきちんとできた。(1年生30分、2年生40分、3年生50分、4年生60分、5年生70分、6年生80分)	3.1	3.3	3.2	
30 「テレビやゲームの時間は、2時間以内」が守れた。	3.3	3.1	3.3	

令和5年度 保護者アンケート 結果

4: そう思う 3: どちらかというと思う 2: どちらかというと思わない 1: そう思わない

評価の観点		1学期	2学期	3学期
学校評価	1 学校は、教育方針や課題を分かりやすく伝えている。	3.6	3.3	3.4
	2 学校は、授業参観等、学校や子どもの状況を知る機会を設けている。	3.7	3.8	3.8
	3 学校は、家庭との連絡や情報提供を積極的に行っている。	3.3	3.2	3.7
	4 学校は、質問・意見・要望等をよく聞き、誠実に対応している。	3.6	3.2	3.6
	5 学校は、電話や来校時の接待マナー等がよく、話しやすい。	3.4	3.4	3.8
	6 学校は、地域・PTA行事への参加をはじめ地域・保護者とよく交流している。	3.1	3.3	3.4
	7 学校は、環境が整備され、安心・安全・快適な学習環境である。	3.2	3.4	3.7
	8 学校は、子供を理解しようと努め、一人一人を大切に指導している。	3.2	3.1	3.3
	9 学校の行事は、楽しく充実している。	3.6	3.3	3.7
	10 学校は、子供たちの学力向上に積極的に取り組んでいる。	3.4	3.3	3.3
	11 学校は、子供の努力や学力を適正に評価し、指導している。	3.4	3.6	3.7
	12 学校は、子供の過ちに対して適切に指導している。	3.1	3.0	3.2
	13 学校は、子供の体力づくりに積極的に取り組んでいる。	3.3	3.1	3.4
	14 学校は、特色ある学校づくりに取り組んでいる。	3.3	3.2	3.4
子供評価	15 子供は、学校生活を楽しんでいる。	3.4	3.2	3.7
	16 子供は、宿題や家庭学習（1年生30分、2年生40分、3年生50分、4年生60分、5年生70分、6年生80分）にしっかり取り組んでいる。	3.0	2.7	2.3
	17 子供は、時間・マナーに留意して、メディア（テレビ・ゲーム）に接している。	3.0	2.7	2.6
	18 子供は、前日に準備を行い、学習用具等を忘れることが少ない。	3.0	2.7	2.8
自己評価	19 子供とよく会話し、ふれあいを大切にしている。	3.4	3.2	3.4
	20 学校・学級からの連絡帳・配布物は必ず見ている。	3.2	3.2	3.0
	21 PTA活動や地域行事に積極的に参加している。	3.7	3.2	3.8
	22 「一家庭一家訓」を意識して家庭生活を送っている。	2.7	2.8	3.0
	23 「一家庭一運動」を意識して家庭生活を送っている。	2.3	2.6	2.4
	24 親子読書の日（毎月23日）にきちんと取り組んでいる。	2.9	3.1	2.6
保護者意見	<p>○今年度も大変お世話になりました。来年度もよろしくお願ひします。</p> <p>○いつも積極的に子供たちと関わってくださり、丁寧なご指導、感謝しております。</p> <p>○忘れ物や学習時間、生活リズムなど、家庭で改善すべき点がたくさんあると反省する一年でした。</p>			